

## 瀬戸SOLAN小学校第1学年・学年通信



# 「ぶんのいち」の責任とは

コスモスハーモニーへのお家の方からのお便りが30通を超えました。

ペンネームでも沢山投稿してもらっており、本当に有難い限りです。（もちろんあなたが贈って下さったかは全てきちんと承知しています）

学年団でも、どなたがどんな風に言葉を紡いでくれているのかは結構話題に上ります。

そのたびに、「ありがたいね」と感謝したり、「ここはこうしよう」と引き締めたり、「もっとがんばろう」と奮起したりとたくさんの追い風をいただいています。ありがとうございます。

先日開いた SOLAN カフェもそうですが、お家の方々の声を聴かせてもらったり、学校と家庭との間に繋がりや重なりが生まれていく機会を少しずつ増やしていこうとしているところです。（私はこうした機会を増やしたり豊かにしていく事が SOLAN にとってとても大切だと思っています。）

まだまだ発展途中のこの学校をより良いものにしていくためには、パートナーとしてのお家の方々の協力が欠かせないからです。

実はこの土曜日にも、ある保護者の方と豊かにお話させてもらう機会がありました。

顔と顔を突き合わせての豊かな時間は、あっという間に過ぎていきました。

もちろん、その場ではテキストメッセージでは中々聞きにくいことへの率直な質問もありましたし、デリケートな話題にも話が及んだりしました

けれど、「少しでもこの学校を良くしていきたい」という思いが互いにあるからこそ、決してネガティブな空気になりませんでしたし、むしろもっと

もっと互いに親睦を深めて子どもたちを支えていこうという前向きな話に終始しました。(次回の開催もその場で決まるほど楽しいひと時になりました。)

くり返しますが、まだまだ発展途中のこの学校をより良いものにしていくためには、パートナーとしてのお家の方々の協力が欠かせません。

そうした繋がりや重なりを生んでいくためのアイデアなどあれば、また気軽に教えて頂けると嬉しいです。

またいくつか、お便りを紹介させていただきます。

渡辺先生いつも楽しく読ませていただいております。

勉強になることばかりで、いつか本にして出版していただきたいです。

渡辺先生がけがしたこと息子も帰宅して興奮して話してくれました。大人になってからの骨折は本当に大変ですよ。少し良くなったようで安心しました。こどもたち本当に優しいですね。読んでいてこちらまでほっこりしました。

アイパッドペンシルの先っぽなくしてしまう問題ですが、うちの息子はすぐに絶対になくすと思いこちらの商品を購入して装着しています。値段もお手頃ですしおすすめです。

[https://www.amazon.co.jp/gp/product/B0892FK3HW/ref=ppx\\_yo\\_dt\\_b\\_asin\\_title\\_o05\\_s00?ie=UTF8&psc=1](https://www.amazon.co.jp/gp/product/B0892FK3HW/ref=ppx_yo_dt_b_asin_title_o05_s00?ie=UTF8&psc=1)

追伸：先生がお米の話をしてから、お家で米粒を残さず食べるようになりました。食べ物の大切さは伝えているつもりでしたが、先生から伝えてもらうとこんなにも違うものだ本当に驚いています。素敵な先生に恵まれて本当に幸せです。ありがとうございました。

今後も宜しく願いたします。

P.N「maron」さんより

温かいメッセージをありがとうございます。

ちょうどこの日曜日にいくつかの出版社の方々とお話しする機会があり、maron さんからの嬉しいメッセージも伝えておきました。(書籍化の件はたぶん、そう遠くない未来に実現できると思います。)

また、アイペンシルに関しての素晴らしい情報をありがとうございました。  
こうやって、学校の困りごとを共に解決してもらえることが本当に有難く、  
パートナーとしての存在を感じるたびに心強さを感じています。

我々担任団も、学校を創りながら学校を運営するというミッションの中で、  
毎日解決しなければならない課題と奮闘しています。

綺麗な表現ではまとめられないほど、日々必死のパッチでやらざるを得ない  
局面もすくなくありません。

だからこそ maron さんのように、力を貸して下さるパートナーの存在を  
我々は心から求めています。

素敵な追い風、温かいアドバイスをありがとうございました。

渡辺先生お怪我されたと同じ心配でしたが思ったより症状が軽そうで少し  
安心しました。お大事にしてください。

忘れ物、なくしもの体操服と制服の名前の件です。

うちの子も忘れ物やなくしもの、置忘れがよくあるのでどうしたものかと思  
っております。。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。。

体操服と制服の記名やなくしもの問題に関しては、もしかしたら以下の対  
策で少し軽減されるかなと思いました。しかし保護者からの意見をすべて取  
り入れていたら大変かもしれないので聞き流していただいても結構です。

① 体操服や制服を購入時にオプションで名前刺繍サービスが別料金であ  
ったら便利だなと思ってました。(自分の中学、高校時代は体操服を購入す  
ると自動的に？全員名前が刺繍してありました)

② 体育のある日は体操服で登校してもよい(今まで通り学校で着替えて  
もよい)というようにすると着替えの時間やなくしものが少なくなるのかな  
と思いました。自分の子ども時代を振り返ると、小学校ではプールの授業以  
外は学校で着替えをしたことがなかったです。冬などは寒いので体操服の上

に他の服も着ていき体育の前後は上着だけ脱着でした。以下少し話がずれませんが、運動で汗をかいた後に着替えたい人は着替えの制服やシャツの着替えを持参、他にはマラソントオルという便利商品もあるようなので各自自分に適した方法で汗対策するのもありかなと思いました。

マラソントオルに関する記事やリンク

<https://www.sankei.com/article/20160309-URZFXWO4UJJDNBLSXDN3ICOOGY/>

<https://fukuokame.jp/2016/10/19/post-3856/>

P.N「SOLANっ子」さんより

SOLANっ子さん！

このアイデアもすごいです！

名札の検討もしていたんですが、刺繍サービスは思いつきませんでした。

早速実現可能なのかどうか、学校に掛け合ってみたいと思います。

それから、体操服での登校アイデアも画期的ですね。

これはすぐにでも実装可能だと思うので、こちらも改めて学校側と相談してみたいと思います。

今の目下の困りごととしては、名前の書いていないシャツや制服が頻繁に出てきて検索をせざるを得ないことと、1年生たちだけで個室で着替えをすることが非常に難しいことがあります。

幼稚園・保育園時代はきっと先生がついて着替えをしてくれたと思うんですが、小学校に上がってから個室で自分たちだけで着替えるようになり、そこでの騒乱や喧騒、そして制服の取り違えが起きています。

現在は4月よりも格段に上手になってきたとはいえ、もう少しシステムの面で上手く運用できないかと考えていたところでした。

SOLANっ子さんのサポートにも、心から感謝します。

ありがとうございます。早速検討します。

初めて投稿させていただきます。SOLAN 小学校に通い始めて早二ヶ月

が経ち、一日一日、大きくなっていくように感じる我が子に、嬉しさと、ちょっぴりの寂しさも感じながら、それでも、「毎日楽しい！！」とってくれる日々、本当に有り難く思います。

先日、Solan カフェの場にお邪魔して、そうやって子供たちが安心して、のびのびと学び合える場としての学校づくりが一步ずつ進んでいっていることが感じられ、とても嬉しい気持ちになりました。先生と会話させていただく中で、「22年度一年生は、4月から3クラスが初めてそろった学年」というお話があり、そういうご縁のめぐりあわせに感謝するとともに、一人の保護者としても責任を感じました。

その場の時間を通して、「ぶんのいちの責任」という言葉を思い出しました。組織の大小はあって、一見自身の影響力はあまり大きくないと思えるような時でも、どんな場面でも、それぞれの場に應じて、なにがし「ぶんのいち」の責任を、その場に居る限りは意識しようとする生き方です。その時々、のびのびの場面に應じて、自分が影響する、あるいは担うべき「ぶんのいち」を考えて行動することで、きっとよりよい組織が生まれてくるという言葉です。先日の Solan カフェでは、先生の想いや同級生の父母の方々の想いに触れることができ、改めて、今年一年生として出会えたご縁に感謝の想いを抱きました。

6年間の中で、嬉しいことも、悲しいことも、いろいろなことがあっても、この Solan という場所で、揉まれてのびのび大きく巣立って行ってほしいと思いました。そして、その場を見守るガーディアンの一員としてあり続けたいと思いました。先生方も、どうぞ、のびのびと、ご指導いただけたら嬉しく思います。これからよろしくお願いします。

P.N「雨のちハレルヤ」さんより

「雨のちハレルヤ」さんのおたよりを読んでいて思わずこみ上げるものがあり、目頭が熱くなりました。

「ぶんのいちの責任」、とても素敵な言葉ですね。

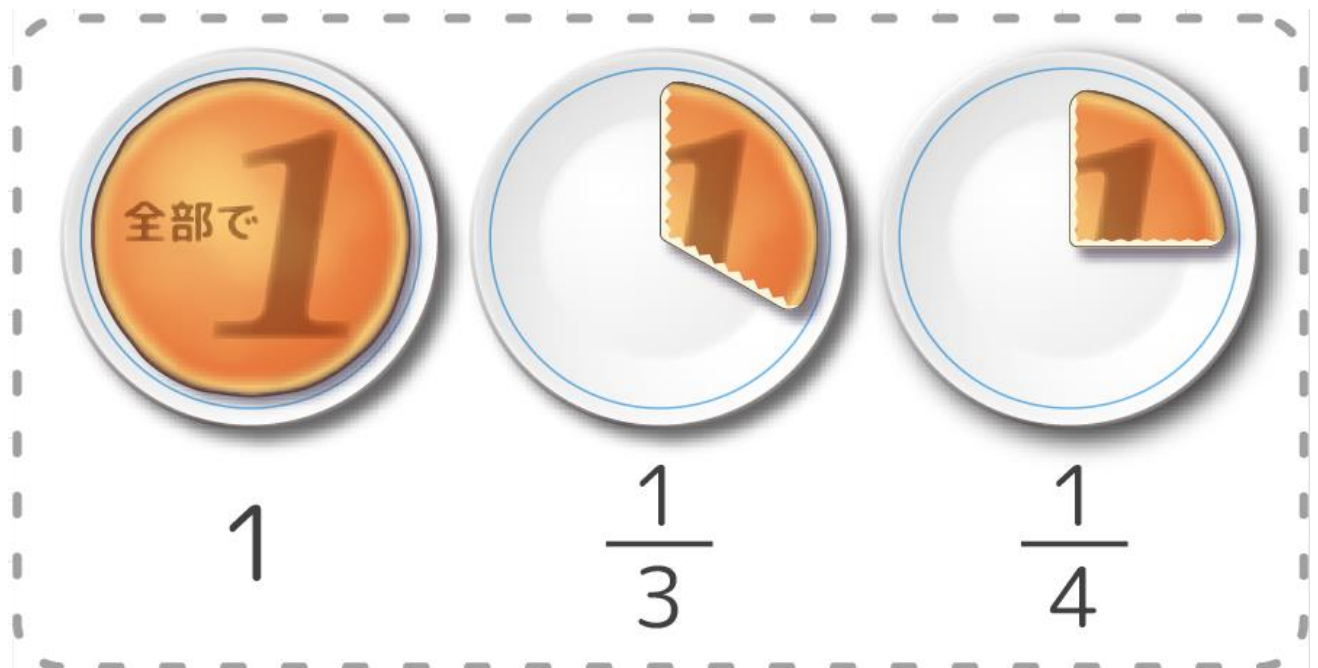
ケネディ大統領の就任演説をどこか頭に思い浮かべながら、私はこのお便りを読ませて頂きました。

よりよい組織を作るため、よりよい学校を創るため、自分にできる「ぶん



のいち」は何かを、私たちも考え続けていきたいと思います。

そして豊かな「1」を共に皆さんと共に創っていかれたらと思っています。



「6年間の中で、嬉しいことも、悲しいことも、いろいろなことがあっても、この Solan という場所で、揉まれてのびのび大きく巣立って行ってほしいと思いました。そして、その場を見守るガーディアンの一員としてあり続けたいと思いました。」

この一節に、どれほど勇気づけられ、励まされたかしれません。

私は「雨のちハレルヤ」さんとも直接お話をさせてもらったことがあります。

発展途中の SOLAN について色んな議論を互いに交わしたからこそ、この一節は特に心に響きました。

発展途中の数々の荒波や、作り上げていく道中の難しさをしっかり受け止めた上で、がっしりとそれを支えようとして下さる思いが伝わって来たからです。

「雨のちハレルヤ」さんともこれからパートナーとして、共にこの学校を創っていけることがとても嬉しいです。

これからもどうぞよろしくお願いします。

またお話をさせて頂ける機会を楽しみにしております。(文責：渡辺道治)

[1学年通信「コスモスハーモニー」読者ページ \(google.com\)](https://www.google.com)